

「県土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標」算定資料

(単位:ha)

資料7

利用区分	年次等	平成17年 (第四次計画 基準年次)	平成26年 (第五次計画 基準年次)	平成38年(目標年次)		増減			留意事項
				目標面積	目標面積の設定(推計)方法	実績 H17→H26	目標 H26→H38	増減率 H26→H38	
農地		25,911	24,470	22,500	「山梨県農業振興地域整備基本方針」で定めた面積目標を元に設定	△ 1,441	△ 1,970	-8.1%	認定農業者の育成、法人化等の推進、集落営農組織の立ち上げ等の担い手の確保、農地中間管理機構等を活用した農地の集積、集約化
森林		345,881	345,695	345,040	過去の状況から、目標年次までの森林面積の増減を考慮して推計	△ 186	△ 655	-0.2%	森林の整備と保全を計画的に進めるとともに、活力ある森林の維持・管理
原野等		1,971	1,971	1,970	過去の状況から、基準年次の面積のまま推移するものとして設定	0	△ 1	-0.1%	保全及び適正な利用
水面・河川・水路		9,256	9,164	9,140		△ 92	△ 24	-0.3%	施設の適切な維持管理・更新を通じた既存用地の持続的な利用
水面		2,523	2,512	2,512		△ 11	0	0.0%	
天然湖沼		1,987	1,935	1,935	過去の状況から、基準年次の面積のまま推移するものとして設定	△ 52	0	0.0%	
人造湖		450	492	492	ダム計画がないことから、基準年次の面積のまま推移するものとして設定	42	0	0.0%	
ため池		86	85	85	過去の状況から、水面面積は現状のまま推移するものとして設定	△ 1	0	0.0%	
河川		6,096	6,096	6,109	目標年次までの河川整備の事業量を考慮して推計	0	13	0.2%	
水路		637	556	522	水田の減少を考慮した上で、目標年次までの水路整備予定面積を考慮して推計	△ 81	△ 34	-6.1%	
道路		10,889	11,730	13,070		841	1,340	11.4%	計画的な道路整備
一般道路		7,464	8,255	9,404	過去の状況と社会資本整備重点計画における整備予定路線等を勘案し、目標年次までの一般道路の整備予定面積を推計	791	1,149	13.9%	
農道		1,790	1,775	1,818	農地等の減少による農道の減少を考慮した上で、目標年次までの農道整備予定面積を考慮して推計	△ 15	43	2.4%	
林道		1,635	1,700	1,844	「山梨県林内路網整備計画」を元に設定	65	144	8.5%	
宅地		17,605	18,486	19,200		881	714	3.9%	
住宅地		10,809	11,835	12,400	人口減少下ではあるが、インフラ整備等に伴う移住等による一定程度の新規宅地需要を見込む必要があることから、第四次計画を参考に増加率を4.8%として目標値を設定	1,026	565	4.8%	空き家などのストックの有効活用
工業用地		1,177	1,189	1,310	目標年次までの整備想定面積等を考慮して推計	12	121	10.2%	企業立地の推進、市町村と一体となった工業用地の整備の推進
その他の宅地		5,619	5,462	5,490	リニア環境未来都市整備方針の駅周辺整備面積(除く交通エリア)と商業施設等立地動向を考慮して推計	△ 157	28	0.5%	既存市街地の土地利用の高度化、大規模集客施設の立地の適正化 リニア中央新幹線の開業等に対応した用地の確保
その他		35,024	34,983	35,570	県土面積から他の区分の面積を控除した面積	△ 41	587	1.7%	
合計		446,537	446,499	446,490					
市街地		6,389	6,000	5,930	過去の状況を考慮して推計	△ 389	△ 70	-1.2%	

※目標の数値は、社会経済の状況により、流動的な要素があることを留意する必要があります。